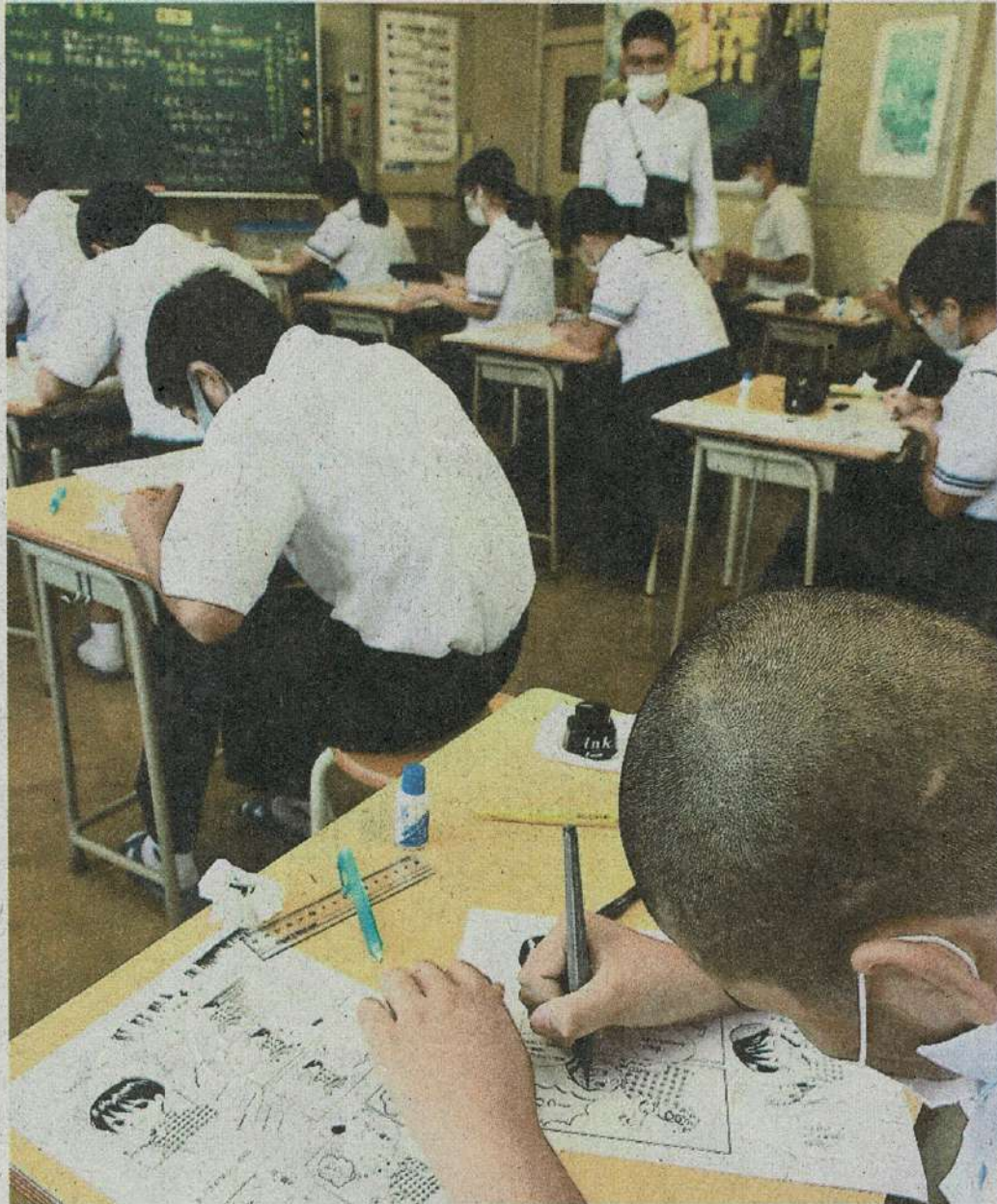


漫画制作に没頭

湯前中、専門家招き授業



小川剛准教授（後方）の指導で漫画を描く湯前中の生徒たち

湯前町

湯前町の湯前中の3年生24人が7月31日、専門家による漫画の授業を受け、漫画特有の表現や画材の使い方などを学んだ。

漫画を活用したまちづくりを進めている町が、豊かな発想力を育もうと毎年開催。熊本市の崇城大芸術学部の小川剛准教授（39）を講師に迎え、生徒たちは「マンガ家アシスタント体験」と題した授業に臨んだ。

会話などを囲む「吹き出し」について、小川准教授

は「絵が同じでも、形を変えられるだけで多くの感情表現ができる。描く際は紙を回した方が楽」とアドバイス。実践的な効果線の技術も伝授した。

生徒たちは制作に没頭し、筆ペンのかすれを使っ
て黒髪の光沢を表現する
「ツヤベタ」などに挑戦。
澁谷彩季さんは「とても細かな作業が必要で、漫画家はすごいと思った」と笑顔だった。

この日、同中1年生は漫画の歴史など、湯前小4年生はキャラクターを描く授業をそれぞれ小川准教授から受けた。（坂本明彦）